

りゅうおう

議会だより

No.183
2018年5月1日
滋賀県竜王町議会

- 定例会報告 P2～ 人口減少にストップをかけられるか
- 委員会報告 P7～ 未来につなぐまちづくり交付金
- 一部事務組合 P9～ 布引斎苑施設、本体工事進む
- 一般質問 P10～ 平均寿命日本一で県と町のPRを
- 追跡 P19～ 須恵地先の町有地に集合住宅を
- シリーズ P20 いきいき人生

3月
定例会

はばたけ竜王っ子!!

関連記事P20

3月定例会は28日間の会期で開催され、
 条例19議案、平成29年度補正予算10議案、
 平成30年度予算8議案、人事案件4議案、
 意見書1件を原案のとおり可決しました。

平成30年度一般・特別会計などの予算
 審議については、予算決算常任委員会で
 集中審査しました。(関連記事 P4~5
 の「議員全員でチェック」に掲載)

平成30年度一般会計総額

55億2,300万円 対前年度比1.1%減

町税

30億8,639万円 対前年度比12.5%増
 景気の回復を反映 法人税割243.1%増

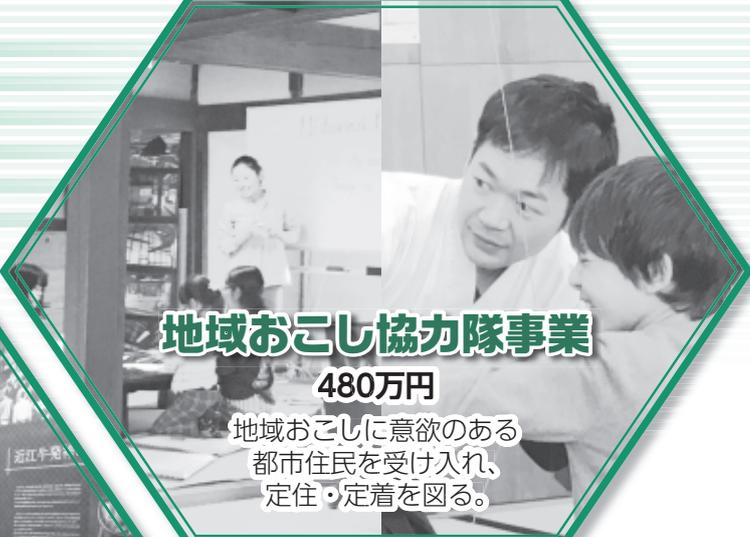
基本方針(2本柱)

- (1) 活力あるまち創り
- (2) 安心して暮らし続けられるまち創り

本年度の 主な事業



田園資料館施設改修工事
 1,800万円
 まるごと「スキヤキ」プロジェクトによる
 情報発信基地としてリニューアル



地域おこし協力隊事業
 480万円
 地域おこしに意欲のある
 都市住民を受け入れ、
 定住・定着を図る。



**農村型コンパクトシティ
 検討事業**
 500万円
 30年後の竜王町の
 グランドデザインを作成



**スー・セー・マリー市友好
 親善使節団派遣事業**
 651万円
 前回の派遣で
 スー・セー・マリー市に石碑を寄贈



市制350周年を迎える同市
 を訪ねて交流を深めるよ。
 本町とは、40年以上の交流
 があるんだ。

近江うし丸

平成30年度 新風に期待

人口減少にストツプを かけられるか

住民の声

町長や新年度事業に
期待することを聞きました。

弓削在住 すぎもと 杉本 かずや 一也さん



免許証の返納などにより車が運転できない人が増加しています。買い物や医院、役場などに誰もが行ける方法の一つとして、例えば、小型バスで各自治会を1時間間隔で運行ができるシステムができれば助かります。

林在住 かわべ 川部 ゆきこ 由紀子さん



誰もが願うところは、「健康で最期まで元気でいたい」。

そのために、自らできることをするのはもちろんですが、たとえ病気や認知症になっても、自分の居場所や役割を持って元気に安心して生活することができる竜王町であってほしいと思います。



公共交通利用促進 社会実験事業

1,110万円

路線バス通学定期補助・夜間特別便の
運行を行う。(社会実験)



健康ベジ7(セボン) チャレンジ事業

87万円

糖尿病・高血圧などの予防を
通して健康寿命の延伸をめざす。

員でチエツク!!

一般会計

『活力』・『安心』をキーワードに予算編成

・公共交通利用促進事業、防災情報通信設備整備事業等に1億7,700万円の増額予算

主な新規および拡大事業



竜王近江牛等特産品発信事業

2,400万円

拡

Q 今年度は、どのように拡大展開していくのか。
A 「近江牛」を基軸に、まちの特産品や歴史、文化などの地域資源を「スキヤキ」というキーワードで総集させ、近江牛にとどまらない、まちの魅力をより多くの方に参画いただきながら発信する。

防災情報通信設備整備事業

1,000万円

新

Q 防災行政無線の整備は、どの様に進めるのか。
A 防災行政無線の整備は、平成30年度で実施設計を行い、平成31年度から工事発注ができるよう準備を進める。

小中学生医療費無償化事業

2,775万円

拡

Q 予算が拡大されている理由は。
A 平成29年10月から実施している、事業（小学生から中学校卒業までの医療費の無償化）を年間を通じて継続するためである。

地域福祉コーディネーター配置事業

381万円

拡

Q 地域福祉について、どのように事業を拡大していくのか。
A 地域福祉コーディネーターの配置による地域丸ごと支え合い仕組みづくりを拡大していく。



古川橋(近江八幡市)から上流方面を見る

日野川改修促進等 国県事業要望強化事業

237万円

拡

Q 要望活動強化事業は、何をどのように強化するのか。
A 日野川沿川住民の生活の安全を確保し、災害防止に万全を期すため日野川の抜本的改修に対する要望活動を強化する。
また、産業経済の発展を目的としてインター周辺整備と道の駅拡充等の早期実現に向け、国、県への要望活動を強化する。

(注) 新 …平成30年度新たに取り組む事業

拡 …継続事業の拡大を図る事業

特別会計

介護保険

9億1,550万円 対前年度比5.5%増



Q 今般、改訂を行った竜王町介護保険事業計画のサービス見込み量から算定した給付費および事業費の積算を行った結果の予算となりました。

A 第7期を迎えるにあたって、介護予防・生活支援サービス等の地域支援事業の拡充が必要と考えるがどうか。

A 第7期の計画策定の過程で、高齢者実態調査のアンケートを行った。その結果拡充したサービスを求めるご意見がなかったことから現行サービスの充実に努める。

国民健康保険事業 (事業勘定)

20億4,690万円
対前年度比52.8%増

Q 平成30年度は国保制度改革初年度であり、財政構造が大きく変わることで影響し、大幅の増額となりました。

A 歳出で保険給付費が16億7千

万円とあるが、昨年度と比較して大幅に増額されている。要因は何か。

A 高額医療給付に備えて1年分を見込んでいるものである。

国民健康保険事業 (施設勘定)

医科

770万円 対前年度比6.1%減

Q 医科については、平成30年度から3年間、指定管理者制度による管理運営を行い、地域医療の充実を図ります。

A この3年間で、今後の医科診療所のあり方について考えるということか。

A 施設整備は3年間で、スケジュール感とスピード感を持って取り進む。新たな施設であっても、公設民営で指定管理者制度を基本に考えている。

歯科

5,450万円 対前年度比2.1%増

Q 歯科保健センターを中心に、予防啓発に努め、外来診療と予防ならびに早期治療に取り組みます。

A 診療報酬収入の傾向は。

A 年度により変動がある。要因としては診療時間帯により、他の診療所で治療されているためと考えている。



景気の回復か

法人町民税、大幅増<9億2,920万円>

補正予算

平成29年度一般会計補正予算は、歳入歳出とも9億2,093万円を追加し、予算総額71億2,570万円となりました。

○歳出の主なもの

- ・財政調整基金積立金 7億1,808万円（積立）
- ・滋賀竜王工業団地維持管理基金積立金 2億円（積立）
- ・若者交電コーディネーター事業委託料 170万円（減額）



財政調整基金って？

町税などの減少や将来の施設整備のために、あらかじめ貯めておくお金だよ。

問 若者交電コーディネーター事業委託料が減額されているが、RSNSの活動内容と来年度以降の方向性は。

答 今年度は、PRとメンバー募集に取り組んだ。今は、RSNSを中心にイベントを開催する状態ではない。今後は、青年団活動との連携を考えていく。



妹背の里でのイルミネーション活動

平成30年 第1回 臨時会 (平成30年1月30日)

平成29年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、昨年発生した台風21号による災害復旧事業に要する事業費が主な内容です。採決の結果、全員賛成で可決しました。

《歳出の主なもの》

- ・災害廃棄物処理事業 1,881万円
- ・農業用施設災害復旧事業 2,670万円



集落に流入した災害廃棄物



災害廃棄物の収集運搬の状況

総務産業建設常任委員会

調査 未来につなぐまちづくり交付金

平成30年度からスタート!!
～自ら気づき、自ら支え合う共生のまちづくりをめざして～

改正点

これまでの自治会への助成金は、主に物を買うか施設の修理をするかに使われていました。平成29年度末で助成事業が終了することに伴い、様々な世代が笑顔で暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指して新たに統合型交付金が創設されます。

- ① 3年間における自治会のまちづくり方針を明確にする。
- ② 自治会を対象とした助成金を統合するため、手続きが簡略化される。
- ③ 「特別加算事業」を創設し、活力加算で共生のまちづくりを加速化する。
- ④ 自治会活動の拠点整備として、共有備品の整備および公民館等の修繕にかかる経費を2分の1助成する。

問 3年間の交付金限度額を自治会ごとに設定されているが、3年間で均等に使用しなければならないのか。

答 交付金の要件として、毎年度、限度額の1割以上を地域共生まちづくり活動に使っていただくことになっている。このため、限度額から同活動の配分枠を除いた残金については、3年間でどのように配分されるかは任意である。

こんな
事業に使えます!!

おたっしや教室



子育て支援の様子
～みんなで食べるカレーライスは
美味しいね～

みんなでつながる
顔の見える関係を!!

教育民生常任委員会

調査

生涯学習課ってどんなことしてるの？

社会教育…

家庭教育の充実を図る啓発、青少年活動の支援および青少年健全育成の推進、社会教育関係団体活動支援など

文化財…

保存活動の推進、地域の歴史に親しむ機会の提供など

人権教育…

人権尊重のまちづくりの推進、学校園、地域、行政の緊密な連携による啓発など

社会体育…

町民の健康体力向上に向けたスポーツ活動の展開、運動習慣の定着に向けたラジオ体操、ウォーキングの普及など

問 スポーツライミングは、どのような方法で普及していくのか。

答 子ども向けには両小学校にスポーツライミング用の壁を設置して体験してもらいたいと考えている。町民向けには、体験講座を予定している。



ボルダリングをする子ども達

報告

介護保険事業関係の内容

平成30年度から平成32年度（第7期）までの第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料が

5,900円（基準月額）に改定!!

介護保険制度を持続可能なものとし、適正な介護サービスが受けられるよう財政運営を行い、地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを目指します。

・生きがいを持った暮らしの実現

公民館での園芸教室や折り紙講座をはじめとする高齢者自身の主体的な活動や、町内3ヶ所の介護予防拠点施設（ふれあいプラザ）において実施している生涯現役事業を通じて活動機会の創出を行います。

・自立生活を支える支援の充実

介護に関することをはじめ、高齢者が生活する上での困り事について地域包括支援センターが窓口になって対応をします。

健康寿命の延伸を目指して

「めざましON野菜～de減塩～」

野菜350g摂取
塩分7g未満



議会広報特別委員会

研修

第41回町議会広報研修会

平成30年3月26日、彦根市でグラフィックデザイナー 長岡光弘氏から「広報紙の編集ポイント」をテーマに、研修を受けました。

また、議会だよりのクリニックを受け、具体的な編集の改善点を指摘いただきました。



研修中の町議員

視察受け入れ

- ①1月25日 兵庫県稲美町議会広報編集特別委員会
- ② 同日 蒲生郡日野町議会
- ③5月 8日 岡山県津山市議会広報調査特別委員会 (予定)

報告

全国コンクール 表紙写真賞

第32回町村議会広報全国コンクールで「表紙写真賞銅賞」を受賞しました。



一部事務組合の動き

八日市布引ライフ組合

斎苑施設の本体工事、12月完成に向け建設中

平成30年2月27日、八日市布引ライフ組合議会定例会が開催され、平成30年度一般会計予算が全員賛成で可決されました。

予算総額は12億8,282万円、うち斎苑施設の本体工事費は7億5,151万円です。

施設整備に伴う本町の負担分は

6,286万円

1市2町の中での本町の負担割合は **8.2%**



施設整備が進む様子



一部事務組合とは

単独の市町で事業を行うよりも、複数の市町が共同で処理したほうが効果的な業務ができるため設置されています。

町政

ここを聞く!

3月定例会では10議員が
20問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
11	山田 義明	ふるさと納税寄附金の増加への取り組みは 町公民館の民間活用は
12	森山 敏夫	竜王町の魅力発信は 重点施策プロジェクトの見える化は
13	内山 英作	平成29年台風被害のその後は 具体的な人口減少対策は ※ 地域共生社会の実現に向けて ※ 平均寿命・日本で県と町のPRを
14	菱田 三男 古株 克彦	町道東西線の県道への昇格は スポーツ振興と施設の管理は
15	貴多 正幸	町内における道路等の整備は 財政の今後は
16	森島 芳男	IBMグラウンド跡地のその後の進捗は 教職員の働きやすい職場づくりとは
17	若井 猛志	国民健康保険税の改正は 竜王農業の展望は 介護報酬の見直しで介護体制は充実するのか ※
18	小西 久次	子育て支援の拡充により人口増加を まちづくり計画と実施計画との整合性は
19	岡山 富男	学校現場での業務改善加速事業とは

※紙面の都合上、掲載しておりません。

そうだ!! 傍聴に行こう!

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会事務局 (☎58-3713) にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は **6月15日(金)予定**

一般質問って?

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ





森山 敏夫 議員

問 昨年10月末に東京日本橋にオープンした滋賀県初のアンテナショップ「ここ滋賀」は、滋賀の魅力を国内外の観光客へPRすることを目的に新設されたと聞いている。本ショップにおいて竜王町の魅力をどのように発信しているのか。

答 「ここ滋賀」で、竜王町・究極の食体験イベントを開催し、食を通じて竜王町の魅力を発信した。竜王町の魅力発信は、首都圏での発信に加え、来町者の受入態勢や住民意識の醸成も大変重要と認識している。年間600万人を超え

問 竜王町の魅力発信は

答 首都圏での情報発信と来町者へのPRを行う

る来町者への魅力発信をブランドプロモーションと農業支援の二つの面で取り組んでいる。



滋賀県が首都圏情報発信拠点として開設した「ここ滋賀」

問 重点施策プロジェクトの見える化は

答 効果的な情報提供・情報発信に努める

問 昨年4月に発足した各重点施策プロジェクトに関して、その進捗がタイムリーに見えてこない。民間では、ガラス張りの経営を推進している企業もあるが、行政も同じことが言えるのではないか、見解は。

答 重点施策プロジェクト項目は、平成29年2月の町民フォーラムで示した「活力あるまち創り」



プロジェクトの1つである防災情報システムの構築に向けた電波調査

と「安心のまち創り」の施策に集約される。進捗状況の開示については、適切な内容や時期を十分検討し、ホームページや広報紙、定例記者会見や関係団体の広報媒体での公表を検討したい。

町の現状や課題を共通認識し課題解決に向けて行政と住民が知恵を出し合うためにも情報共有は不可欠と認識している。効果的な情報提供・情報発信に努める。



内山 英作 議員

問 平成29年台風被害のその後は

答 復旧工事完了は5月末をメド

問 決壊箇所の本復旧については、3月末から4月にかけて工事が着工され、5月末には完了予定である。

また、決壊した新川の抜本的な治水対策につ

問 議会では昨年12月に、弓削地区からの請願に基づき国・県に対して意見書を提出した。その後の意見書に対する対応はどのようなようになっているか。

次は、県議会において「災害復旧区間以外についても順次進めて参りたいと思います。」との答弁があった。町としても、早急に治水対策に取り組みでもらえるよう働きかけていく。



災害復旧予定地（新川の決壊箇所・大型土のうで応急復旧）

問 平均寿命・日本一で県と町のPRを

答 PRまでに現状の改善を図る

都道府県別平均寿命（ベスト5）				
	男性		女性	
全国平均	80.77		87.01	
1	滋賀県	81.78	長野県	87.675
2	長野県	81.75	岡山県	87.673
3	京都府	81.40	島根県	87.64
4	奈良県	81.36	滋賀県	87.57
5	神奈川県	81.32	福井県	87.54

平成29年12月13日厚生労働省発表

問 厚生労働省は、平成27年の都道府県別の平均寿命を発表した。それによると、男性は、81.78歳でトップ、女性は87.57歳で第4位であった。その要因は何か。

答 要因については、食塩摂取率や喫煙率の低さなど、生活習慣予防に良い習慣や行動が滋賀県民に広がっているためと考えられる。

しかし、平成22年度の本町の平均寿命は、男性80.45歳で県内13位、女性84.45歳で12位である。このことから、PRについては、本町では平均寿命が男女とも高くないため、まずは、現状の改善を図れるよう努めていく。

問 町道東西線の県道への昇格は

答 関係機関と連携して要望していく



菱田 三男 議員



国道8号に出る道の駅電王かがみの里の側道(③関連)

問 ① 鵜川地先の神部橋付近斜路の改善。
② 町道東西線の県道への昇格。
③ 町道山鏡西線の進捗。
以上の3路線の経過と対応を伺う。

答 ① 神部橋付近斜路の拡幅を警察と協議した結果、今以上の交通事故が起りやすくなる旨の指導をいただいた。

今後も状況把握を行い、必要に応じた交通安全対策に努める。
② 町道東西線の県道への昇格は、継続して滋賀県町村会などを通じ、町内主要町道の県道昇格を要望していく。
③ 第一段階として概略設計を実施している。関係機関と協議を重ね、周辺状況を把握し、機を見計らいながら進めていく。



古株 克彦 議員

問 スポーツ振興と施設の管理は

答 ボルダリングを町の競技に



国体競技に内定したボルダリング
(総合運動公園にて)

問 ① 2024年の滋賀国体に電王町でスポーツクライミングの競技開催が内定した。総合運動公園内の同施設の利用状況および学校の授業に取組むなど町をあげての競技にするのか。
② ドラゴンハットの屋根の雨漏り、音響設備の修繕計画は。
③ 電王西小学校の体育館の補修計画のその後は。

答 ① 昨年6月に設置されたボルダリングウォールは、土日を中心に月約900人の利用がある。国体およびオリンピックに出場できる選手が輩出できるよう取り組みたい。
② 総合運動公園の長寿命化計画に基づく修繕計画を作成する。
③ 床の補修については、平成30年度に計画しており、大規模改修については、長寿命化計画を作成し、取り組む。



貴多 正幸 議員

問 町内における道路等の整備は

答 地域の発展に向け計画を立てていく



渋滞する国道8号(西横関付近)

問 ①国道8号(東近江区間) 整備促進期 成同盟会でも国や県 に対して、慢性的な 渋滞改善に向けた整 備や危険な交差点改 良の要望がされてい るが、現状の進捗状 況について伺う。
②電王インターチェン ジ周辺の道路整備に ついて、以前から話 のあったスマートイ ンターチェンジ化の 考えについて見解を 伺う。

答 ①関係市町とともに 当区間のバイパスと拡 幅を視野に入れた道路 整備と、主要交差点に おける交通緩和対策を 国・県に対して要望し ていく。
②一極集中型の交通網整 備だけではなく、新た なスマートインターチ エンジによる分散型も 有効な手法の一つとす る中で、整備時期、工 事期間、必要経費を検 討していく。

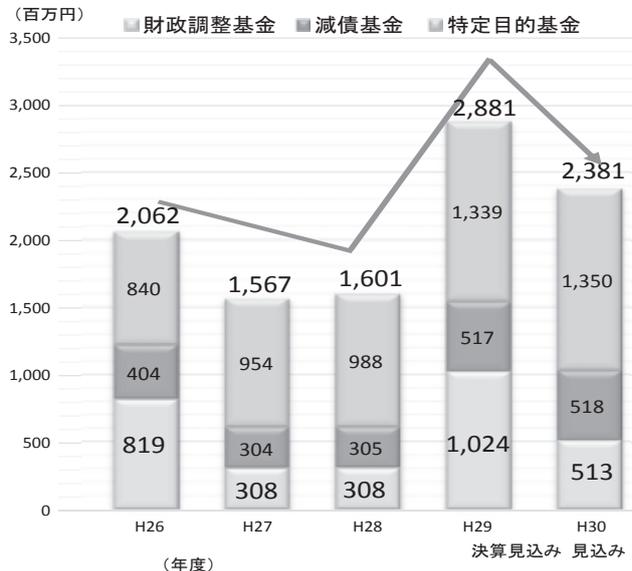
問 財政の今後は

答 安定した財政運営に努める

問 平成30年度は4年 ぶりに不交付団体へ復 帰すると新聞報道があ った。一見すると当町 の財政が豊かであるよ うな錯覚を起しがち だが、この件に関して、 町の見解を伺う。また、 今後の財政見込みにつ いて伺う。

答 普通交付税を不交 付と見込む年度は、普通 交付税および臨時財政対 策債の減少相当分を財政 調整基金からの繰入金で 充当している。このため、 交付と見込む年度より繰 入金を2億円から3億円 増額し、予算編成してい る状況である。各種プロ ジェクトなどへ引き続き 財源を集中させる必要も あり、このようなことを 考慮すると決して財政状 況が豊かであるとは言

一般会計における基金残高の推移



税収が、社会情勢等に大きく左右されるため、基金として積立られる金額が年度によって大きく変動

がたい。
今後の財政見込みは、町税のうち法人町民税が、当分の間、平成30年度当初予算で見込んでいる額で、推移すると推測している。
今後も安定した財政運営ができるよう努める。



問 IBMグラウンド跡地のその後の進捗は

答 早期に住宅整備が進むよう協議を重ねる



森島 芳男 議員



IBMグラウンド跡地周辺

問 平成29年第2回定例会で質問した時、「新たな開発事業者による開発事業を進める考えを示された。」と答弁されたが、次の3点について伺う。
 ①その後の進捗状況は。
 ②土地所有者と有効活用について協議されているのか。
 ③町として独自に解決策を考えているのか。

答 ①本町に三度訪問され、住宅地としての土地利用計画を見直すことによる土地の有効活用について、種々検討されている。
 ②企業誘致推進における住宅確保対策等の情報を提供することにより、住宅地として有効活用できるようにお願いしている。
 ③企業誘致を推進する中において企業従業員の住宅は必要と考えており、進出企業への情報提供をしている。

問 教職員の働きやすい職場づくりとは

答 教育の質の向上と職場づくりをバランス良く両立する

問 「業務改善加速事業を通じて、業務に専念できる環境を確保する」とのことであるが、①部活の指導業務が大きな負担とされているが、教職員の負担を解消することで、教職員が担うべき業務環境となるのか。
 ②子ども達と向き合う時間を確保するとは具体的にどのような内容か。
 ③事業を進められているが現状と課題は。

答 ①部活動は大きな教育的意義がある。部活動指導員の配置により、授業などを中心に子ども達と向き合う時間も確保でき、部活動全体の質を高め、活性化できると考えている。

②どの子にも分かる授業をすることや、様々な相談に応じたり、子ども達との運動や遊びを通して、ふれあいを深めることなどである。
 ③「業務改善加速事業」のアンケートでは、アシスタントの配置により「児童生徒の指導にあてる時間が増えた」などと答えた教職員が多く、成果が見られた。課題は、竜王の教育の質の向上と、教職員の働きやすい職場づくりを、バランス良く両立していくことであると考えている。



先生が質問に答えてくれるGAMBA廊下



若井 猛志 議員

問 国民健康保険税の改正は

答 保険者の責務について
裁量権をもっている

問 国民健康保険制度は、国民皆保険制度の基盤となる仕組みであるが、平成30年4月より都道府県単位化という方法がとられる。そこで以下の点について伺う。

① 社会保険制度の保険者としての、裁量権を持っているのか。

② 町の国保加入者の所得に対する保険税負担はいくらか。

③ 子どもの医療費助成制度に対する、国保へのペナルティーについてどのようなように考えているか。

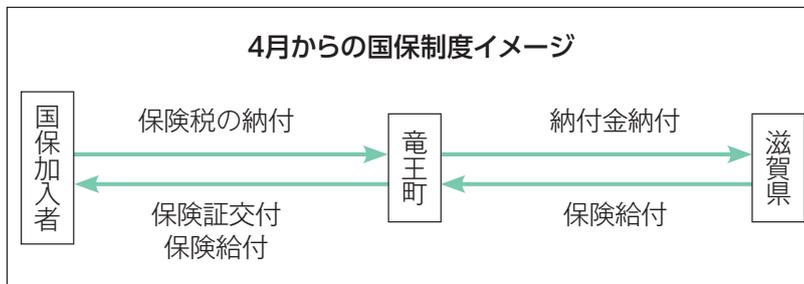
④ 国保税の子どもにかかる均等割を軽減できないか。

答 ① 町は、被保険者の保険給付・保険税の決定などを担い、保険者の責務については、裁量権を有する。

② 国保税が被保険者の所得に占める負担割合は、約9.6%である。

③ ペナルティーである医療費助成等に係る公費減額措置の廃止を引き続き国に求めていく。

④ 子どもに係る均等割の軽減については考えていない。



問 竜王農業の展望は

答 生産性向上を目指す



転作中の小麦



田植準備中のほ場

問 平成30年4月より戸別所得補償と生産調整の廃止が決まっているが、自給率向上に向けた取り組みについて町としてどのような施策を持っているか。

答 農業・農村を取り巻く環境は大きな変化に直面している。このような情勢の中で、担い手への

さらなる農地の集約化による効率化を進めていきたい。加えて、収益性の高い園芸作物への取組みなど、効率的かつ生産性の高い土地利用型農業の実現に向け努める。

小規模農家を含めた竜王農業全体の生産性向上に向けて、関係機関と連携して竜王農業の振興を目指していく。

問 子育て支援の拡充により人口増加を

答 竜王版ネウボラをより一層推進する



小西 久次 議員



支給される紙おむつ

問 ①年間出生数は毎年60人と減少しており、平成28年度出生率は1.43人である。一世帯における子ども数はどうか。
②子育て支援は妊娠・出産・子育て関連事業（竜王版ネウボラ）として進められているが人口減少に歯止めがかからない。子どもが産みやすい環境づくり（経済支援等）のための新たな施策が必要ではないか。

答 ①一世帯当たりの子どもの数は、平成29年度末で1.91人と5年前より約0.1人増加している。
②中学生までの医療費の無償化、子育て応援軽自動車購入助成事業、定住促進住宅新築・リフォーム助成事業、不妊治療の保険診療適用外治療費の一部助成等を継続している。竜王版ネウボラをより一層推進するため、経済支援等他市町の施策を参考に調査研究を行う。

答 ①総合計画は平成32年度末で終了するが、総合戦略を策定する場合は、体系立てにより策定する。
②庁舎周辺は公共施設・医療・商業施設が立地し集約されている。重点施策プロジェクトチームにおいて、総合計画や公共施設等総合管理計画などと、整合を図り、中長期的に検討

問 平成30年度予算で総合計画策定と農村型コンパクトシティ検討が提案されている。
①「まち・ひと・しごと総合戦略」が平成31年度で終了するが総合計画との整合は。
②コンパクトシティ化の具体的な取組は。
③アクセス整備検討の予定であるが関係法令等との取組計画は。

問 まちづくり計画と実施計画との整合性は

答 「計画と戦略」を体系立て策定する

している。
専門家、学術機関、町民の意見を聴きながら30年後のまちのグランドデザインを描いていく。実現に向けた具体的方策・スケジュールを明確にする。
併せて総合計画と関連付ける必要があるため調整して取り組んでいく。
③アクセス整備については、都市計画マスタープランの見直し、道路整備アクションプログラムは必要に応じて見直しを図り課題整理して進める。



30年後のグランドデザインの実現に向けて



岡山 富男 議員

問 学校現場での業務改善加速事業とは

答 学習指導等に集中できる環境を整備する



掲示作業を手伝うアシスタント

問 教育委員会では文部科学省の委託を受け、教職員の業務を手助けする業務改善アシスタントを小学校に週16時間、中学校に週20時間配置され、効果があったと聞いている。県教育委員会では、スクール・サポート・スタッフの配置や部活動指導員の配置などを検討されているが、今後の考えは。

答 業務改善アシスタントの配置の成果を踏まえ、平成30年度に国・県では、補助事業としてスクール・サポート・スタッフを希望に応じて配置することと決定され、当町も対応予定である。また、『部活動指導員』を配置し、指導体制の充実を図る計画もしている。教職員が自らの職務に誇りや情熱を持ち続け、学習指導などに集中し、健康でいきいきと勤務できる環境整備が必要と考えている。



追跡!! あの一般質問はその後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

須恵地先の町有地に集合住宅を

(平成28年第1回定例会一般質問より)

問 人口減少に歯止めをかけるため、町内に点在する町有地、特に須恵地先の町有地を活用して集合住宅を計画してはどうか。

答 須恵地先の町有地については、活用が可能な資源として土地の有効活用を図る。町内企業への支援と定住対策を合わせ、対応していく。

◎その後

定住促進に向けた住宅開発を目的とし、共同住宅・寄宿舎等の条件付きのプロポーザル方式により売却先を選定し、3月14日に町内企業に売却することが決定しました。



シリーズ

いきいき人生

西横関在住

谷口

清さん

部品加工33年

私は、終戦間もない農家に生まれ、両親の苦勞の中で育てられました。田畑も少なく、自分の生きる道は別に求めていく必要があると思い、繊維会社に勤務しました。

その後、農家の仕事と両立しながら機会があれば起



マシニングによる部品加工

業したいと思っていました。ある時、近江八幡市にある会社で金型の仕事をする機会があり、事業を始めることを一大決心しました。

事業を始めるには資金が必要で、親戚等の応援もあり幸いに銀行の融資を受けることができました。また、作業場所、工作機械、トラックなどを一度に準備する必要があり、大阪に何度も出かけ調達することができました。

始めた頃、妻は慣れない仕事を家事と子育ての両方をしながら一緒に夜遅くまで作業をし、時には徹夜の作業もありました。おかげさまで約20年間何とか続けられましたが、この間に、得意先の方針が変わり、受注していた仕事が無くなったこともあり。60歳も過ぎ、仕事を辞めることもできず思案をしていた時、息子が「一緒にやる」と言ってくれ、再度二人三脚で出直すことになりました。

今日まで私の人生は、家族をはじめ多くの方々に支えられたものでありました。これからも、お世話になった方々に感謝し、少しでも何かのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。

春爛漫の4月9日、竜王小学校に67名、竜王西小学校に46名のピカピカの一年生が入学しました。緊張や不安も日に日にほぐれ、お友だちと毎日元気いっぱい、笑顔いっぱい、で学校生活を送っています。6年間の学校生活を通して、確かな学力と豊かな心、健やかな体をしっかりと育んでほしいと願っています。一人ひとりの子どもたちが、竜王町の未来を拓く心豊かでたくましい人に育ってくれることを願い、学校、家庭、地域が一体となって子育てに取り組んでいきたいものです。



ピカピカの一年生

編集後記

五月晴れの空に鯉のぼりが悠々と舞い、町内各地区では豊年祈願の太鼓や鐘の音が聞こえる季節を迎えました。

新年度がスタートし就職・転勤・転職・退職された方々が新生活に慣れ「さあ、今年度も頑張ろう！」と決意を新たにされているのではないのでしょうか。

議会も、町行政の施策が住民に見えるものとなり「まちが良くなったなあ」と言ってもらえるよう6月定例会でも慎重審議に努めて参ります。



議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内山 英作 |
| 副委員長 | 古株 克彦 |
| 委員 | 菱田 三男 |
| 委員 | 若井 猛志 |
| 委員 | 貴多 正幸 |
| 委員 | 小森 重剛 |

